

教育プログラム・コースの概要

| | | | | | | | |
|-------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 大学名等 | 秋田大学 | | | | | | |
| 教育プログラム・コース名 | 患者に優しいプレシジョンがん治療を実践できる薬剤師を養成するコース（修士課程） | | | | | | |
| 対象者 | 薬剤師（旧薬学部4年課程卒業生） | | | | | | |
| 修業年限（期間） | 2年。 | | | | | | |
| 養成すべき人材像 | 県内に存在する4年生薬学部を卒業した学生に高次の癌薬物療法の知識やスキルを教授する。従来のがん専門医療人に必要とされる知識、技量に加えて、①がんゲノムやがん生物学などの基礎医学を理解し、その成果を臨床にいち早く応用することができる薬剤師。②がん患者の身体状況や腫瘍の特性に立脚したプレシジョン医療を実践できる薬剤師を養成する。 | | | | | | |
| 修了要件・履修方法 | 基礎科目から必修の9単位を履修し、さらに5単位以上を選択履修する。また専門科目として、新設された分子医学・プレシジョン医学から4単位、レアキャンサー科目から4単位の合計22単位を履修する。科目学位論文を作成し、学内の最終試験に合格する。以上を要件とする。 | | | | | | |
| 履修科目等 | 基礎科目では、臨床医学総論(4)、細胞・人体の形態と機能(4)、医学総論(1)を必修とする。加えて地域医療政策と環境保健(1)、医学英語(1)、先端的細胞培養技術(1)、生体分子定量技術(1)、遺伝子組換え技術(1)、動物実験技術(1)、光学・電子顕微鏡操作法(1)から5単位以上を選択履修する。さらに専門科目として、分子標的治療論(2)、プレシジョン医療論(2)、レアキャンサーのがん生物学(2)、レアキャンサーの治療論(2)を履修する。 | | | | | | |
| 教育内容の特色等 （新規性・独創性等） | 秋田県は全国に先駆けて高齢化社会が進行中である。次に行うべき、がん医療体制の整備に資する専門医療人教育としてはプレシジョン医療を実践できる薬剤師の養成がある。特に高齢者に対するがん治療では標準治療の個別化は必須となる。高齢化県において、本学が行ってきたファーマコゲノミクスやtherapeutic drug monitoring (TDM) に基づく治療設計は、その嚆矢とすべきものである。すでに本学には標準治療を実践する薬剤師を養成する体制は整っている。新たながん先進医療の地域への導入は首都圏の医療機関や他大学との医療連携などを通じても加速されるものと思われる。本プロジェクトは新たながん先進医療、プレシジョン医療の均てん化に貢献できるという特徴を有する。 | | | | | | |
| 指導体制 | がん治療認定薬剤師を養成する体制はすでに整備され、実績を上げている。旧課程の学部生（4年制時代）の薬剤師の医学修士獲得体制を整備する。教育体制としてはファーマコゲノミクスやTDMの活用や、これを介した全国の医療機関との連携実績がある。また、予定されている連携大学との間で授業互換、遠隔講義、人的交流などの実績があり、これを深化させる。 | | | | | | |
| 教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想 | がん専門薬剤師。がん治療認定薬剤師。 | | | | | | |
| 受入開始時期 | 平成30年4月 | | | | | | |
| 受入目標人数 | 対象者 | H29年度 | H30年度 | H31年度 | H32年度 | H33年度 | 計 |
| | 大学院生 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | 計 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |